



第八回・九回 ハッピーウォーク実施

昨年3月7日と7月8日の2回にわたり、地域内の危険箇所などを確認するハッピーウォークを開催した。

毎回、布田小学校PTA校外部から2名の保護者の方に参加していただいているが、第9回（7月実施分）は、あいにく雨天のため布田南部自治会会議室ないでの意見交換のみとなった。



雨天のため意見交換のみの第9回（7月）



極寒の中歩き終えた第8回（3月）

【前頁から】
 地域包括支援センターは調布市の高齢者支援室から委託を受けて、市内に10ヶ所設置されており、ちようふ花園の担当地区は小島町2・3丁目、下石原2・3丁目、布田3・6丁目。高齢者自身や家族はもちろん、一人暮らしの高齢者が困っているのに気づいた近所の方でも、地域包括支援センターに何でも相談して欲しい、対応の際にはプライバシーに十分留意している」と強調されていた。

最後に、石川さんは、「ちようふ花園全体として地域に溶け込んだ運営を心がけています。相談窓口としての地域包括支援センターを、気軽に利用して頂きたいのはもちろんですが、地域の方々には花園を訪ねて下さるようお願いいたします。花カフェを利用していただいても、毎年10月に開催する花園祭の時でも結構です。入居者が地域にお住いの方々とふれあいを大変喜んでくれるのです。」と話してくれました。（文・藤田秀雄）
ちようふ花園（0424842002）
 調布市の地域包括支援センター一覧は、調布市ホームページを参照

地域運動会 種目 搬送訓練



新しい試み。地域運動会で搬送リレー訓練を消防署と共に実施しました。

10月16日

布田小地区ハッピータウン協議会 役員・運営委員

- 《役員》平成28年度
 会長 依田 耕児（地区ボランティア有志）
 副会長 山本 光則（布田南部自治会）
 中谷 俊一（地区ボランティア有志）
 林田 紀子（地区ボランティア有志）
 金山 耕治（染地かもめ会）
 理事 河内 信郷（地区ボランティア有志）
 矢幡 秀治（布田小地区学校開放運営委員会）
 藤田 秀雄（布田南部自治会）
 齊藤 修太郎（健全育成推進布田地区委員会）
 吉村 竜児（布田小PTA）
 齊藤 厚子（地区ボランティア有志）
 野口 潤（地区ボランティア有志）

- 《運営委員》
 澤口 孝行（桜丘睦会）
 山口 祐二（布田西部自治会）
 新田 重彦（布田西部自治会）
 岡宗 秀一（布田西部自治会）
 代田 詠造（布田南部自治会）
 磯原 直道（地区ボランティア布田5丁目）
 久場 兼三（染地一丁目自治会）
 雪本 修一（地区ボランティア染地2丁目）
 坂下 幸（染友自治会）
 石塚 絹代（民生児童委員）
 永谷 容子（民生児童委員）
 鈴木 啓子（健全育成推進布田地区委員会）
 岩佐 理佳（健全育成推進布田地区委員会）
 柴垣 涼子（健全育成推進布田地区委員会）
 江原 幸一（布田小学校）
 山口 節子（染地児童館）
 高野 千尋（郷土博物館）
 田村 敦史（こころの健康支援センター）
 木村 仁（地区ボランティア有志）
 阿部 光保（地区ボランティア有志）
 佐藤 京鼓（ちようふ花園）
 池本 明央（地区ボランティア布田6丁目）

- 《監事》 山口 勉（布田西部自治会）
 荘司 和代（民生児童委員）

11月20日 救急救命講習会を開催

於：こころの健康支援センター

昨年の11月20日（日）、調布市こころの健康支援センター（布田五丁目）にて、当協議会主催による救急救命実践講習会が開催され、布田小地区の各自治会などから20名が参加した。

今回の講習会は三年前の平成25年に実施したものに続いて二回目。受講者に与えられる「救命技能認定」資格は、現実の救命実績や技術の進歩・環境変化を反映するため、そしてまた受講者の記憶をリフレッシュするために、有効期限三年とされている。

今回は、前回受講者の資格更新を行うと同時に新規出席者も募り、より多くの方々に救命技能を広めることが目的であった。

調布消防署と東京防災救急協会から4名の講師陣が派遣され、資格更新対象者12名と新規出席者8名の2組に分かれ、それぞれのテキストに従って、AEDの



実技訓練中の皆さん

実地訓練を含めた約3時間の講習が行われた。

新しく更新された内容の事例としては、救命対象者の反応を確認するために、両肩（従来は単に「肩」をたたきながら呼びかけるように改められた。これは、たまたま片半身にマヒがあつて気づかなかつた、といった実際の事例を反映したもので、小さくても実践的な情報の更新が行われている。

また、平成27年8月から運用が始まった、日本救急医療財団全国AEDマップ（※1）

地区内年末パトロール特集

新しい年を迎えるに当たり、地域内の自治会等で行われている年末パトロールに参加してきました。

布田西部自治会では、国領と染地地区も含めた広範囲の住民の方々にも参加していただきながら25日から6日間をわたり地元消防団現役およびOBの方々と共にパトロールを実施しました。消防団と一緒に活動するのは頼もしいと思いました。

多摩川7丁目を中心とした桜丘睦会では、年末の二週間に、平日の八時から四、五名で警戒パトロールを実施している素晴らしい試み。地域運動会で搬送リレー訓練を消防署と共に実施しました。



12月23日 桜丘睦会（多摩川7丁目）



西友会（布田西部自治会後援）12月27日



◇ 継続・自立・個性 ◇
 先日、ちようふ花園を訪問（詳細は本号記事を参照）したのをきっかけに、社会福祉学の自習本を手にとって読んでみました。

その一説に、『要約』私たちは住み慣れた地域社会の中で家族、友人に囲まれて暮らしたいと願っている。過去現在未来の時間軸の中で自分自身であり続けたいという「継続性」、主体的にできるだけ自由にしてほしいという「自立」、そして自身自身を認めてほしいという人間関係によって確認される「個性」。人間としてこの3つが満たされることで人間の尊厳を保ちながら安心して生きていくことができる。とありました。

そういえば訪問時に職員や関係者の皆さんが入居者に対してこの本に書いてあるようなことを大切に接していただいていたことが思い出され、理念と実践を現場で体現していることに敬意の念を覚えまして。そして普段なにげなく生活している私たちにとつても、地域で暮らすとはどういうことなのか、人はなぜ助け合いながら生きていくべきなのかを、これらの言葉と共に改めて考えさせられました。

トランプ大統領が就任し世界的に大きな変化が起きようとしています。この地域にはゆるぎのない不変の価値観があります。皆さんが愛するこの地域への願いや希望がそこに住む全員のためへの光となるよう、引き続き当地区協会のご理解とご協力のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。

布田小地区ハッピータウン協議会
 会長 依田 耕児

運営委員募集中!
 ★年6回の運営委員会
 ★防災教育の日 避難所訓練
 ★地域の安全安心活動
 お近くの上記運営委員にお尋ねください

<http://happy-usako.jp>



◇ はっぴーなきずな ◇
 ☆ 今年は酉年。毎年、元日には深大寺に初詣をし、そこで干支の土鈴を買い求めています。嬉しいことに、今年の大トリ登場で十二支すべてが勢揃い！何とも幸先の良い年明けになりました。（磯原直道）

☆ Kさんは昔から花が好きでした。ご主人が亡くなりひとり暮らしになっても、もの忘れが出て、毎日庭の水やり、花の特徴を生かした手入れをし、訪問する度におしえてくれます。そんなKさんを尊敬しています。（佐藤京鼓）

救急救命講習

(1面から)
同様の機能の日本全国AEDマップ(※2)と共にAEDの設置場所を、パソコンなどを使って地図上で確認することができそうです。

資格更新対象者に出席した佐々木秀子さんは、「地区協役員をやっている家族から勧められて出席しました。3年前のことなので忘れていたかなと不安でしたが、割と覚えていました。今回の講習会で記憶をリフレッシュできましたし、知識がより明確になりました。こういった知識と模擬訓練の成果を、積極的に役立てていきたいと思えます。今後、地区協にはより実践的な知識経験を広めていくために、災害シミュレーションを含んだような訓練、例えば直下型地震で倒壊した家があったり人が閉じ込められていたとしたら、近隣住民は何をすれば良いのか、といったことまで考えて頂ければ素晴らしいと思えます。」と話してくれました。

※1 日救急医療財団 AED マップ <https://www.qqzaidanmap.jp/>

※2 日本全国 AED マップ <https://aedm.jp/>

年末パトロール

(1面から)
さが大変印象的でした。続いて染友自治会。ここは子ども達に地域への愛着と関心をもってもらいたいという理由から毎年子どもたち中心にパトロールを実施していて、子供たちの大きな声によって大人も注意喚起がされやすいという効果が高いそうです。夜は危ないからではなく、大



↑子ども達の元気な声、染友自治会↓

人がバックアップしながら子どもも積極的に関わる町ぐるみの姿勢が大変参考になりました。



白山宮神社



毎年、布田南部自治会が主催して行われる白山宮神社の初詣にその準備からお邪魔してきました。夜10時に集合して地域をパトロールした後には松明(たいまつ)を準備し甘



除夜の鐘と共に参拝する地域の皆さん



神社を守る布田南部自治会の皆さん

酒やミカンを準備していると、除夜の鐘15分前位から参拝客が並び始め、0時の時報と共に参拝が始まりました。近くに住む五十嵐直樹さん(45才)は、「布田小に通う子どものつながりで初めて来てみました。一年間の家族の健康を祈りにきました。」と話してくれました。今年で三年連続で参拝に来た菅原信吾さん(52才)は、「家族の無病息災をお願いしに来た。ここで毎年変わらず続けて実施してほしい。」と話してくれました。子どもも高校合格祈願を兼ねて初めてこの初詣に家族で訪れた片山真さん(52才)は、「白山神社には夏のお祭りもあり地域の中心として大切な存在です。」と話してくれました。約1時間に三百五十人が参拝を済ませ、運営を司る布田南部自治会の皆さんがテキパ

キとチームワーク良く片づけに入りました。傍らで、白山宮部長の河江英俊さん(68才)に聞きました。「小さい時からある地元のお宮を守っていくことは自分自身のごく自然な気持ちです。境内をきれいに保ち、ここを中心とした地域のつながりで、皆さんでいろいろな活動ができることは何より楽しいですよ。」と。その他の方々からも、昔の町の話聞かせていただき、改めてこの地域を愛する人たちが本当に多いのだと実感した新年の初詣でした。境内の祠は正月三ヶ日の間は開かれていて引き続き近くの方の参拝が続くそうです。「どうぞ今年一年間、安心安全に暮らせるようよろしくお願ひします。」ともちらん私も帰り際にお祈りしてきました。布田南部自治会の皆さん、ありがとうございました。



施設の正面玄関



フロア内のラウンジ空間



戸建てのような各部屋の玄関



施設内で販売しているお菓子類

晴れて暖かな1月18日の昼下がり、介護が身近なものになってきた地区協運営委員六人で特別養護老人ホーム「ちようふ花園(かえん)」を訪問した。ここはデイサービス、居宅介護支援、それに地域包括支援センターも運営しており、高齢化

三階建て施設の一階はデイサービスと厨房、事務所など施設全体の共用スペース。この日は最大の30名ほどの方がデイサービスにいられていたが、全体のイベントにも利用されるスペースは混雑感もなく、ゆったりとした時間を過ごされていた。

が進む調布市ならびに当地区協にとつて関わりの深い施設。介護長の石川理恵さんが、施設全般の案内をしてくれた。入居されている方や、デイサービスの利用者がびっくりされないように、三人ずつ少人数での見学も高齢者施設らしい配慮。

また一階の中央部には、花カフェという地域に開かれた憩いの場が設けられている。毎週水曜と金曜の昼間にオープンしており、おいしいコーヒーや紅茶などを味わいながら、地域の方々には施設の雰囲気に触れてもらい、



デイサービスの食堂ラウンジ



お昼時ににぎわう花カフェ



花カフェランチ、美味しい

入居者には地域の方との交流という、ちよつとした非日常の場となっている。我々も特別にお願いし、限定3食という入居者・デイサービス利用者と同じランチを花カフェで頂いた。量は高齢者に合わせて五百キロカロリーに抑えてあるが、味はしっかりとおいしく頂戴した。

2・3階の特別養護老人ホームは、従来一般的に行われてきた集団ケア(サービス提供側の日課に入居者が合わせる)とは異なり、入居者の個性と生活リズムを尊重したユニットケアが特徴。入居者10名を一つの生活単位(ユニット)として、ユニットごとに広がりビンダスペースがあり、隣接のキッチンでご飯とみそ汁を作る等、固定されたスタッフと相まつて、一つの大家族のような暮らしの環境を実現している。一方、八畳ほどの個室の内装を変えるのも、朝の起床・食事の時間も自由といった入居者の「個」を大切にする支援スタイルも、従

来の特養とは異なる部分だ。ちようふ花園には、現在こうしたユニットを8つあり、80名の入居者が暮らしている。居宅介護支援は、住み慣れた自宅での生活を続けたい高齢者への援助を提供するサービス。専門の介護支援職員が勤務しており、ケアマネージャーと利用者・家族が相談して作成したケアプランに基づいて、自宅を訪問して援助を提供している。地域包括支援センター(042-484-2285)は、こういった高齢者介護(介護予防を含め)に関するよろず相談窓口だ。ちようふ花園の施設やサービスのみならず、必要に応じて医療機関やケアマネージャーなど関連する方々と協力して、地域ぐるみで各々の高齢者が安心して暮らしていけるような体制を整えることが目標。

【おっもろー】

開催 12月3日

おやじネット



当日集まった布田小おやじネットの皆さん

(4面に続く)